

日本医史学雑誌 第64巻 総目次

原 著

- 華岡青洲の医学に対する思想…………… 松木 明知 3
- 明治期に日本で製作・使用された皮下注射器
——佐藤恒二蒐集注射器の調査と分析——…………… 月澤美代子 19
- 戦時期日本における脊髄戦傷／脊髄損傷の医療史
——整形外科と軍陣医療の接点——…………… 坂井めぐみ 35
- 1880-1890年代の日本におけるアメリカ女性医療宣教師の活動…………… 藤本 大士 223
- 白隠禅師の仮名法語にみる「健康」の語の使用
——『於仁安佐美』(1751)から『さし藻草』(1760)まで——…………… 平尾真智子 241
- 華岡青洲の撰による「禁方(拾)録」に関する研究…………… 松木 明知 257
- 華岡青洲の撰による「続禁方録」に関する研究…………… 松木 明知 281
- 山崎宗運の経穴学について
——『釈骨』と「骨度折量法尺式」を中心に——…………… 加畑 聡子 355

研究ノート

- 「合水堂治験」, 「華岡家治験図巻第三」および「春林軒奇患図」の
3図巻に披見される症例の比較検討…………… 松木 明知 49
- 村井椿寿(琴山)著『漫遊説』…………… 松崎 範子 299
- 「花井先生方函」の「痿薬」と「麻薬考」の「原方(花井氏伝)」…………… 松木 明知 311
- 1810年代の麻沸湯による全身麻酔下の乳癌手術患者を描いた図
——春林軒門人雨森良圭描写による全身麻酔下患者の2図——…………… 松木 明知 369

日本医史学会創立90周年記念特別例会

1. 日本医史学会創立90周年記念 特別例会…………… 岡田 靖雄 383
2. 日本医史学会の90年…………… 酒井 シヅ 385
3. 日本歯科医史学会のあゆみ…………… 西巻 明彦 387
4. 日本薬史学会の歴史と現状…………… 三澤 美和 389
5. 洋学史学会の歴史と現状…………… 青木 歳幸 391
6. 日本獣医史学会の歴史と現状…………… 小佐々 学 393
7. 日本看護歴史学会のあゆみ…………… 田中 幸子 395

シンポジウム：わたしはなぜ医学史・医療史をまなぶのか

1. わたしはなぜ医学史・医療史をまなぶのか…………… 岡田 靖雄 397
2. 行動しながらの医療史——精神科医として——…………… 岡田 靖雄 399
3. 複合領域としての医療史／医学史／科学史…………… 月澤美代子 403
4. 臨床医学と社会医学の接点——予防接種史を中心に——…………… 渡部 幹夫 408

5. 医学史・医療史と公衆衛生

- マキューン・テーゼから歴史人口学へ—— …………… 逢見 憲一 413

資 料

- 合田強の『紅毛醫言 卷二』の解題と翻刻…………… 板野 俊文, 田中 健二 104
池田文書の研究 (59) …………… 池田文書研究会 59
合田強の『医道聞書』の解題と翻刻…………… 板野 俊文 344
明治天皇皇子女夭折問題関連の新出史料…………… 深瀬 泰旦 319
合田大介の『紅毛醫術聞書』の解題と翻刻 …………… 板野 俊文 417

記 事

消 息

- 「2017 大韓韓医学原典学会国際学術大会」に参加を終えて…………… 吉田 和裕 443
例会記録…………… 69, 325, 445

例会抄録

『神農本草経集注』と『新修本草』

- 苦菜をめぐる両者のスタンスについて—— …………… 岩間真知子 69
『杉田玄白評論集』の出版について…………… 片桐 一男 71
シーボルト事件で罰せられた三通詞…………… 片桐 一男 72
シソの古典的記述から…………… 伊藤美千穂 74
犬狂犬病発生頭数の消長と社会的要因分析…………… 唐仁原景昭 75
西東三鬼と平畑静塔らの戦争俳句
——治安維持法との関わりについて—— …………… 北野 元生 76
陸軍看護制度の成立過程
——橋本綱常の上申を中心に——…………… 鈴木 紀子 77
自筆資料からみる曲直瀬道三の医学と医療…………… 町 泉寿郎 79
故医学士神田知二郎君紀念之碑からわかったこと…………… 寺島 俊雄 445

書 評

スーザン・P・マターン著, 澤井 直訳

- 『ガレノス：西洋医学を支配したローマ帝国の医師』…………… 鈴木 晃仁 447
日仏薬学会, 日本薬史学会訳
『薬学の歴史 くすり・軟膏・毒物』…………… 坂井 建雄 448

書籍紹介

- 森 洋久編『角倉一族とその時代』…………… 松村 紀明 81
井上幸孝・佐藤 暢編『人間と自然環境の世界誌——知の融合への試み
(SI Libretto)』…………… 澤井 直 81
鷹見家文書研究会著『蘭学家老 鷹見泉石の来翰を読む—政治篇—』
…………… 松村 紀明 82

編集執筆責任者：小曾戸洋，共編校訂者：町泉寿郎

『杏雨書屋所蔵 医家肖像集 二編』	平松 賢二	450
投稿規定	106, 217, 346,	452
告知（お願い）		348
編集後記	108, 219, 348,	454

第119回 日本医史学会総会・学術大会 演題目次

プログラム

特別講演

I 島津重豪と薩摩・琉球の博物学	高津 孝	119
II 辺境としての九州	ヴォルフガング・ミヒエル	120

シンポジウム「人類と感染症の相克：医史的見地から」

1 病原体と人類の相即弁証法 ——仏教・西田哲学の視点から——	吉田 眞一	121
2 ウイルス感染症の歴史 ——新興感染症への対応力の観点から——	加藤 茂孝	122
3 感染症と伝統医学	鈴木 達彦	123

一般演題

1 『喫茶養生記』の茶と桑の意味	岩間眞知子	124
2 『黄素妙論養生訓』について	永塚 憲治	125
3 大正期女子歯科医学生の諸相	永藤 欣久	126
4 渋沢栄一のフィランソロピー活動における医薬・医療・福祉との関わり	町 泉寿郎	127
5 明治期における緒方正清婦朝以前の大坂の産婆制度	阿部奈緒美	128
6 「新出の刺絡専門書『痧脹晰義』について」の続報	池内早紀子	129
7 藤木流の鍼灸書『信左隨身宝』の序文について	竹内 尚	130
8 曲直瀬道三の妻・介石宗祐の系譜とその時代	葉山美知子	131
9 太極図・陰陽論と中医理論 ——易経と東洋医学との関わり II ——	榎藤 寿昭	132
10 松原一閑斎の瞑眩と治療	松岡 尚則, 別府 正志	133
11 『十便良方』所載の鍼灸	上田 善信	134
12 柔道整復術について	清野 充典	135
13 曲亭馬琴の医学観と医者との交流	加畑 聡子, 星野 卓之, 小田口 浩, 花輪 壽彦	136

- 14 本居宣長記念館所蔵医書について
——元禄十年刊『本草摘要』など—— 吉川 澄美 137
- 15 産育習俗に関する基礎的一考察
——積善坊流修法資料にみる呪符について—— 坂本 陽子 138
- 16 『医心方』の「人神」について 島山奈緒子 139
- 17 陳垣による中日医学交流 郭 秀梅 140
- 18 日本統治時代の台湾医学会 張 秀蓉 141
- 19 『傷寒論』熱入血室における意味解釈の再考 莊 明仁 142
- 20 “沖縄＝伝統的長寿県”説の成立
——沖縄県公文書館蔵『琉球政府第1回生命表』の分析—— 逢見 憲一 143
- 21 生殖医学の観点から古代史を探る 江本 精 144
- 22 華岡青洲の医哲学に及ぼした吉益東洞の影響 松木 明知 145
- 23 医学史研究会 岡田 靖雄 146
- 24 明治10年前後の東京府の医療・福祉状況
——東京府統計表に見る養育院と東京府病院—— 稲松 孝思 147
- 25 武見太郎の描いたわが国の未来社会
——昭和30年の「中央公論」論文から——
..... 丸井 英二, 杉田 聡, 田中 誠二 148
- 26 なぜ戦後すぐに母子健康手帳が日本で最初に作成されたのか?
..... 中村 安秀 149
- 27 占領期日本の衛生教育に関する研究
——Charles M. Wheelerによるレポートの検討——
..... 田中 誠二, 杉田 聡, 丸井 英二 150
- 28 ペスト菌DNAの進化から見たペスト流行史 加藤 茂孝 151
- 29 加門桂太郎の京都府醫学校での解剖学講義録について
..... 島田 和幸, 内藤美智子 152
- 30 難波抱節旧蔵『医事古言』について 清水 信子 153
- 31 小倉領の種痘と再帰牛痘法 青木 歳幸 154
- 32 ブールハーフェとハラーの「医学学習指南書」 澤井 直 155
- 33 馬場辰二の漢方と実学
——和田啓十郎宛書簡から考える—— 徳留 一博 156
- 34 明治中期日本における医療情報の受容
——『順天堂医事研究会報告』における集団的評価—— 月澤美代子 157
- 35 ニール・ロバートソン・ストレッチャーの起源は
戸塚環海が考案した簾状吊架である 柳川 鍊平, 坂井 建雄 158
- 36 “SERAT TARIMPON JAMPI”とインドネシアの伝統医療 安部 郁子 159
- 37 華岡青洲門人・小田順亭(魯庵)の墓誌銘の原史料と
毛利空桑全集収載の二次史料の内容 金谷 貢, 金谷 桂子 160

- 38 麻沸湯論條評
——麻酔科医から見た華岡流全身麻酔法についての新しい資料——
…………… 土手健太郎, 牧野 洋, 菊地 博達 161
- 39 国際麻酔科学史シンポジウムの歴史
——第10回大会日本招致成功によせて——
…………… 牧野 洋, 土手健太郎, 菊地 博達, 松木 明知 162
- 40 一枚の写真——明治23年お雇い外国人教師スクリバの第一医院外科
若き医局員9人のその後…………… 高橋 薫, 高橋日出雄 163
- 41 明治政府お雇い外国人医師スクリバ博士の外科と植物
…………… 高橋日出雄, 高橋 薫 164
- 42 日本看護史の研究…………… 山口 静子 165
- 43 江戸時代における大坂の女医…………… 鈴木 則子 166
- 44 楊介『存真環中図』の成立と変遷について…………… 三鬼 丈知 167
- 45 近喰流鍼法について…………… 周防 一平, 小田口 浩, 花輪 壽彦 168
- 46 香川修庵『一本堂葉選』の成立過程
…………… 星野 卓之, 小田口 浩, 花輪 壽彦 169
- 47 『幽蘭堂年譜』と『升堂門生録』の関係…………… 西巻 明彦 170
- 48 四国医療専門学校所蔵「紀伊国海部郡加太浦今井氏所蔵」
張子二体組銅人形について…………… 松木 宣嘉 171
- 49 医家有馬家の系譜について…………… 今井 秀 172
- 50 『刺絡編』の鍼法…………… 鶴田 泰平 173
- 51 養生所等遺跡からわかった養生所の構造について…………… 相川 忠臣 174
- 52 中国伝統医学と道教(第38回)「チャクラと奇経」…………… 吉元 昭治 175
- 53 『桃山時代解剖之図』について…………… 真柳 誠 176
- 54 江戸期河内地方の儒医たち
その日常生活について——その二…………… 田中 祐尾 177
- 55 合田大介の『紅毛醫述聞書』の概要…………… 板野 俊文 178
- 56 ペラグラ——歴史の変遷と課題——…………… 伊藤 泰広 179
- 57 医術開業後期試験の臨床実験問題と当時の時代背景について
…………… 志村 俊郎, 都倉 武之, 寺本 明 180
- 58 近現代日本におけるダウン症候群と小児科学…………… 大谷 誠 181
- 59 内科学教科書の結核記述の変遷と昭和期の日本の結核:
『内科書』を中心に…………… 渡部 幹夫 182
- 60 医学士千原春甫の徳島県赴任と甲種徳島医学校の開校・廃校について
…………… 梶谷 光弘 183
- 61 日本医科大学の前身済生学舎を創設した長谷川泰の思想的系譜
——良寛の反骨精神に学ぶ——…………… 殿崎 正明, 山本 鼎 184
- 62 『北越従軍銃創図録』について…………… 山内 一信 185

- 63 国立病院機構の病院濫觴考察…………… 福永 肇 186
- 64 ゲーテと医療 (第3報)
——フーフェラント教授の人間像と彼に宿るゲーテ的ヒューマニズム——
…………… 鈴木 重統 187
- 65 トマス・バルトリンの『コペンハーゲンの医学・哲学紀要』…………… 安西なつめ 188
- 66 18～19世紀フランスにおける「病院医学」について…………… 小林 晶 189
- 67 希望のよりどころとしての医史学
——小児髄芽腫治療の歴史—— …………… 柳澤 隆昭 190
- 68 明治初期の宗教政策と精神病患者収容施設…………… 橋本 明 191
- 69 宇田川榕菴は“Utriculi (of Malpighi)”を意識して“細胞”と造語した
…………… 佐藤 裕 192
- 70 伊東玄朴の改名とシーボルト事件…………… 西留いづみ 193
- 71 地方藩医の長崎遊学～伊東救庵宛て書簡の検討…………… 海原 亮 194
- 72 日本における医薬系博物館——類型化の試み——…………… 野尻佳与子 195
- 73 キングス・コレッジ病院の創設と発展…………… 柳澤 波香 196
- 74 『銃創瑣言』にみる看護…………… 鈴木 紀子 197
- 75 長崎における牛痘種痘法接種者第一号である榎林建三郎の翻訳本
…………… 佐藤 利英, 樋口 輝雄 198
- 76 小坂精尊と長野県における民間の禁煙運動…………… 石田 雅彦 199
- 77 筑後久留米藩軍艦千歳丸の医官 (藩医) 中山元朴は
西郷従道や長州藩桂太郎と北越戦争へ…………… 中山 茂春 200
- 78 近世藩立医育施設と牛痘種痘の普及…………… 鈴木 友和 201

誌上発表

- 79 『重校補註素問玄機原病式』の饗庭東庵注について…………… 木場由衣登 202
- 80 池田京水『護痘要法』(1831)にみる痘瘡の看病法…………… 平尾真智子 203
- 81 喉痺について…………… 三浦 喬 204
- 82 『鍼道発秘』について…………… 岩田源太郎 205
- 83 『寿世保元』の鍼灸…………… 橋本 典子 206
- 84 西鶴作品にみる身体に関する語 (六)…………… 計良 吉則 207
- 85 ポンペにヤママユの蚕種を調達した医学生について…………… 須長 泰一 208
- 86 『新刊通真子補註王叔和脈訣』の引用書について…………… 水溜 亮一 209
- 87 死脈の変遷について…………… 中川 俊之 210
- 88 若山健海と『種痘人名録』について…………… 大西 雄二 211